



河曲地区地域づくり協議会

広報 かわの

令和3年12月5日 第7号

回
覧

神戸中学校跡地

6億6千万円で落札

10月1日付の中日新聞に中学校跡地落札の記事が掲載されましたので紹介します。いよいよ神戸中学校跡地に新たな町の建設が始まります。

松阪の業者 6億6000万円で落札

鈴鹿市は30日、旧神戸中学校跡地（同市十宮4丁目、約19000㎡）を売却するため条件付き一般競争入札を実施した。不動産業「ユタカ開発」（松阪市）が6億6780万円で落札した。

県内の4業者が参加し、予定価格3億4850万円に対し2倍近い値が付いた。予定価格2000万円以上または5000㎡以上の案件で本契約を結ぶには議会の議決が必要で、市は12月定例議会に諮る。

今回の入札では、土地の用途は一戸建て住宅分譲地の開発に限定され、将来的に設立される自治会のために集会所を設けることが売却条件となっている。（写真は跡地の西北端より市役所方面を遠望）

市によると、議会の議決が必要となる大型案件としては2013年9月に入札が実施された旧神戸中学校第二グラウンド跡地（約5600㎡）以来。予定価格1億2238万9000円に対し、1億9200万円で落札された。（中日新聞10月1日号の記事引用）

地域づくり代表者会議

近隣地区と情報交換

11月10日、市役所本館で「第1回鈴鹿市地域づくり協議会代表者会議」が開かれました。市内全28地区の代表者48名が一堂に集う初めての情報交換会。河曲からは萩義彦協議会々長と遠藤義光自治会総代会々長が出席しました。

今回は市内の各協議会の取組や他市町村で行われている具体的取組について情報共有することにより、次段の活動の参考とするための場でした。

また、鈴鹿市が各協議会から意見を聴取し、新たな施策の参考とするための意見交換の場でもありました。

今後は協議会が日頃より地域の課題と感じている事案について、この会を通じて近隣地域と協議出来るようになります。市や関係団体からの情報発信もあるようです。

昨年度の活動事例として、沢城址清掃（飯野）、定五郎パネル展（牧田）、コロナ応援花火（神戸）、黒ニンニク栽培（深伊沢）、防災隊備品整備（箕田）、ジャンボタニシ駆除（天名）等を知りました。河曲からは富士山古墳整備、小学校防災給食、サテライト型防災訓練などを伝えました。



神戸中学跡地の眺望
1町9反（19000㎡）

1561名参加 参加率15.35% 河曲地区 サテライト型防災訓練

11月14日、河曲16自治会一斉行動を前提とするサテライト型防災訓練が行われ、1561名のみなさんが各自治会所定の避難場所を集まり、お互いの無事を確認することが出来ました。

地域住民の防災意識向上を図るための啓発活動、今回で5回目になります。この積み重ねにより、別表の通り、年を追って住民の皆さんの意識は向上し、参加率も伸びてきています。

まさかの際は、まず、てんでんこ、自分と家族の安全確保が第一。次いで隣近所に声掛けしあったうえで一時避難場所を集まり、共助、公助など次の段階に備える。初期行動に関するこうした流れの体感が今回の訓練の趣旨です。

今年の河曲全域の居住者参加率は15.35%。去年は14.17%。地区別では山辺・ラウムズが33.13%、河田が24.34%。須賀の松林弘自治会長によれば戸建世帯参加率も重要で、34%あれば両隣への声掛けで、50%になれば隣家一軒への声掛けで全域の状況把握が出来る、因みに今回の須賀のその参加率は49.86%、とのことでした。



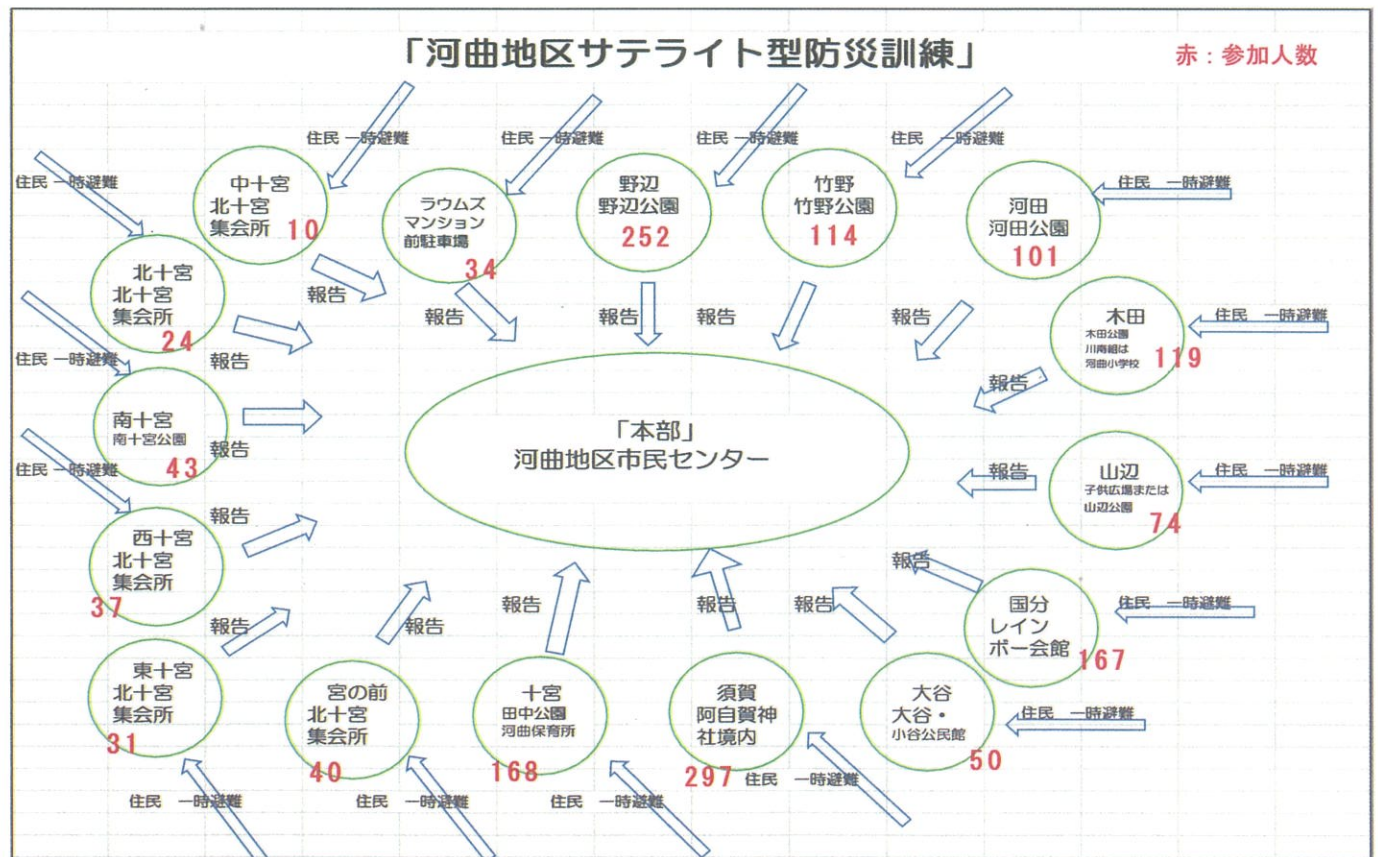
地区市民センターで救援物資受け取り



一時避難場所入口でアルコール消毒と体温測定



フェースガードの組長に避難人数を申告





避難訓練本部 各自治会からの避難人数報告を受信



最終報告数値を訓練本部集計ボードに記載 11.14 8:48am

防災訓練 地区別参加者 R3.11.14

地区	人口	参加者	参加率 %
河田	415	101	24.34
野辺	1099	252	22.93
竹野	1806	114	6.31
山辺	326	74	33.13
ラウムズ		34	
木田	853	119	19.81
大谷		50	
国分	914	167	18.27
采女が丘	28	0	0.00
十宮	3374	353	10.46
須賀	1356	297	21.90
合計	10171	1561	15.35

考古博 シンポジウム 国分寺 過去・現在・未来

10月17日午後、文化会館さつきプラザで鈴鹿市考古博物館主催の「国分寺 過去・現在・未来」と題するシンポジウムがありました。聴講者は河曲地域づくり協議会の萩会長、白塚山参与、是枝宮ノ前自治会長をふくめ限定100名でした。



講演中の佐藤信教授 10.17

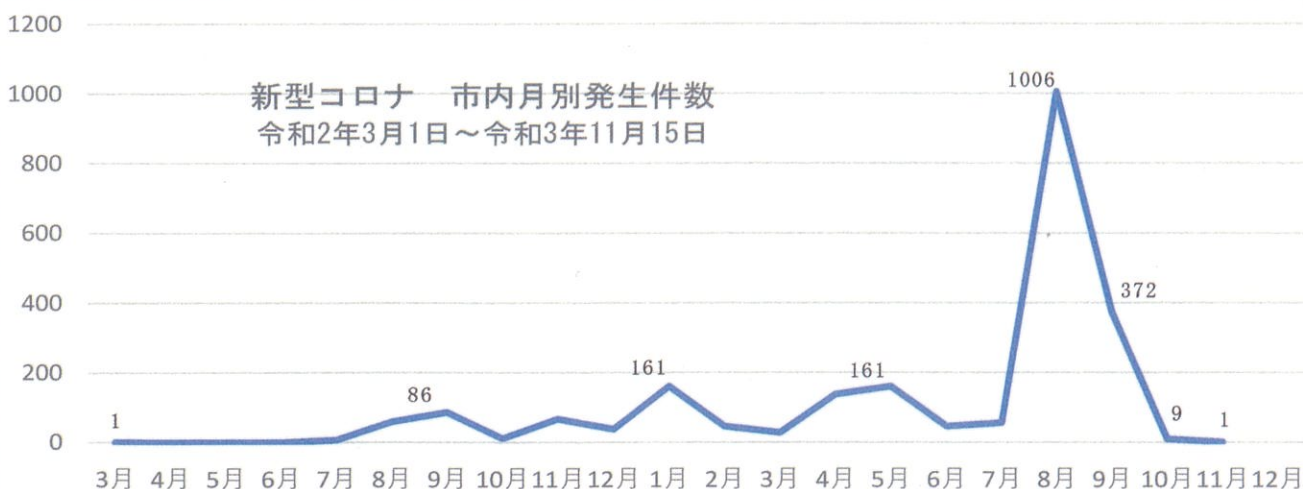
今回は伊勢国分寺跡歴史公園の開園記念の催しで、【過去】奈良時代の国分寺と地域社会について専門家による基調講演、【現在】伊勢・三河・遠江国分寺跡の発掘調査の成果と史跡公園を活用した活動事例、【未来】博物館と歴史公園を活かした「まちづくり・人づくり」の今後の進め方、など学術講演と報告が午後6時15分まで続けました。

第1部 13:00～ 基調講演①「国分寺と在地社会」講師：佐藤信氏（東京大学名誉教授）

基調講演②「考古学からみた国分寺」講師：梶原義実氏（名古屋大学教授）

第2部 15:15～ 事例報告①「遠江国分寺跡」安藤實氏（磐田市教育委員会）事例報告②「三河国分寺跡」天野雄矢氏（豊川市教育委員会）事例報告③「伊勢国分寺跡」吉田真由美氏（鈴鹿市考古博物館）

新型コロナ 市内月別発生件数
令和2年3月1日～令和3年11月15日





10/16 8:30 作業開始 博物館広場

博物館 小学校 中学校の草刈り

令和3年度に行事予定している年4回の草刈りのうち、3回目を10月16日に協議会内の各団体役員の方々46名のご協力のもとに実施いたしました。

今回は夏の酷暑のためか、草丈がしっかり伸びていて、刈草の量はいつもの倍になりました。市の焼却場への搬送にも二往復と、時間もかかりました。



「かわのブルゾン」新調しました

地域づくり協議会の諸事業に資するよう、このたび、委員の皆さん用に活動着を新調しました。色合いは写真の通り、どんな緊急時にも遠目からも判別できるようにピンクです。

このブルゾン新調の原資は、木田に工場を置くTS Techさんの「地域貢献活動」向けの基金にお世話になっています。これまでも当協議会宛に防

災救護用テントはじめいろいろ御寄贈して頂いています。茲に、河曲地域へのご高配に深く感謝申し上げ、こうした社風のご紹介かたがた、御礼の言葉といたします。



■号外発行 国分寺まつり中止を速報

9月に入っても新型コロナが依然として猛威をふるっていたため、10月末に開催が予定されていた国分寺まつり実行委員会主催行事はすべて取りやめ、となりました。

これを受けて9月25日付で「広報かわの 号外」を発行しました。

河曲地区地域づくり協議会広報紙

『広報かわの』第7号 令和3年12月5日 発行

発行責任者 河曲地区地域づくり協議会 事務局長

事務局 河曲公民館内「地域部屋」 電話059-390-1295